

調書番号

85

事業名	富士山安全対策費	財務コード (事業)	555904
-----	----------	---------------	--------

細事業名	富士山六合目臨時公衆トイレ設置費
------	------------------

担当部課室	観光 部 観光資源 課 富士山山岳 担当 (内線)	4307
-------	---------------------------	------

事業の概要

実施期間	始期 H15 年度 ~ 終期 年度			
実施主体	県(直営)			
事業の目的	<table border="1"> <tr> <td>誰(何)を対象に 富士山を訪れる登山者・観光客 富士山の環境</td> <td>その対象をどのような状態にして 快適な登山観光を楽しむことができ る、 し尿による環境への負荷がなくなっ ている</td> <td>結果、何に結びつけるのか ゴミ対策や水質等の保全、快適・安全な 山岳観光に必要な施設の整備</td> </tr> </table>	誰(何)を対象に 富士山を訪れる登山者・観光客 富士山の環境	その対象をどのような状態にして 快適な登山観光を楽しむことができ る、 し尿による環境への負荷がなくなっ ている	結果、何に結びつけるのか ゴミ対策や水質等の保全、快適・安全な 山岳観光に必要な施設の整備
誰(何)を対象に 富士山を訪れる登山者・観光客 富士山の環境	その対象をどのような状態にして 快適な登山観光を楽しむことができ る、 し尿による環境への負荷がなくなっ ている	結果、何に結びつけるのか ゴミ対策や水質等の保全、快適・安全な 山岳観光に必要な施設の整備		
事業の内容 主に 24年度	<p>事業概要: 富士山六合目における公衆トイレ設置</p> <p>(1) 期間: 夏山シーズン中(H24.7.1からH24.9.2)</p> <p>(2) 設置場所: 富士山六合目</p> <p>(3) 規模: 6基</p> <p>(4) 仕様: 燃焼式</p> <p>(5) 設置業者: (株)ミカサ</p>			
根拠法令等				

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度		23年度 実績値	24年度 目標値 実績値		25年度 見込値	26年度 目標値	事業目標の考え方
活動指標	トイレ利用者数(人)	約49,300人	45,233人	約50,000人	約50,000人	約60,000人	活動指標 目標設定の考え方 H24: 過去3ヶ年の平均 H25: 実績 H26: 現状での見込み数(H25の1.2倍) データの出典等 設置報告書
	活動指標達成率 (実績値/目標値)		110.5 %				目標設定の考え方 H24: 過去3ヶ年の平均 H25、H26: 現状での見込み数 (H24の1.2倍) データの出典等 設置報告書、富士山安全指導セン ター運営協議会資料
成果指標	トイレ利用者数 /登山者数	21.55% (49,300人 /228,775人)	18.59% (45,233人 /243,289人)	20.27% (50,000人 /246,616人)	21.49% (50,000人 /232,682人)	21.49% (60,000人 /279,218人)	目標設定の考え方 H24: 過去3ヶ年の平均 H25、H26: 現状での見込み数 (H24の1.2倍) データの出典等 設置報告書、富士山安全指導セン ター運営協議会資料
	成果指標達成率 (実績値/目標値)		109.0 %				成果指標によらない成果 登山者の約2割が利用しており、意図した 成果をほぼ上げている。 し尿を燃焼処理し、環境への負荷を少な くしている。
決算額、予算額		3,752	3,752		3,752	4,392	
(千円) うち一財額		3,752	3,752		3,752	4,392	
所要時間(直接分)		60 時間	60 時間		60 時間	60 時間	
所要時間(間接分)		0 時間	0 時間		0 時間	0 時間	
所要時間計		60 時間	60 時間		60 時間	60 時間	
人件費コスト 単位:千円 (@2,050円×所要時間)		123	123		123	123	

これまでの事業の見直し・改善状況

--

**活動量と成果の判断(平成24年度の業績評価)**

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)

数値判定 H24年度 活動指標 達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)

数値判定 H24年度 成果指標 達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記入すること
b	b	登山者の約2割が利用しており、意図した成果をほぼ上げている。 し尿を燃焼処理し、環境への負荷を少なくしている。

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

**見直しの必要性(平成26年度に向けた改善等の考え方)**

一次評価(担当部評価結果)		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目
有	6合目の臨時公衆トイレについては、意図した成果を上げているものの、世界遺産効果により登山者の増加が想定され、富士山全体ではトイレの不足が問題となっており、快適な登山環境に不安がある。特に下山道については、7合目において環境省でトイレの整備を進めているが、6合目臨時トイレについては、常設トイレとして整備する必要がある。	b

・「以外の判断項目」の欄  
必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) 官or民(f.民間等実施) 官の役割分担  
(g.市町村等へ移管) 効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

**二次評価(担当部局再評価結果)** 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価

見直しの必要性	説 明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

**見直しの方向(平成26年度当初予算等での対応状況)**

見直しの方向	具体的な実施計画等
拡大	・登山道開通期間の延長に伴う活動量増大(63 77日間) ・常設トイレとして整備すること(平成30年供用開始)で基本計画策定(H26当初予算6,988千円計上:富士山六合目安全指導センター等整備事業費)

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。